

2011年3月期 上半期決算説明会



ダイセル化学工業株式会社
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2010年11月10日

目次

2011年3月期 上半期実績	P3～P10
業績概要	P3
連結損益計算書	P4
売上高・営業利益分析	P5
セグメント情報	P6～P10
2011年3月期 見通し	P11～P27
業績見通し	P11～P12
売上高・営業利益の推移と見通し	P13
セグメント別 売上高・営業利益(前年対比)	P14
セグメント情報	P15～P22
設備投資額推移	P23
TOPICS	P24～P25
減価償却費推移	P26
研究開発費推移	P27
連結貸借対照表	P28
総資産・有利子負債推移	P29
Grand Vision 2020	P30
予測に関する注意事項	P31

業績概要

単位: 億円

	前上半期	当上半期	増減	増減率
売上高	1,437	1,809	+372	+25.9%
営業利益	51	209	+157	+307.6%
経常利益	47	198	+150	+317.7%
当期純利益	21	77	+56	+263.9%

為替レート	95円 / \$	91円 / \$
-------	----------	----------

業績概要

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	備 考
売上高	1,437	1,809	+372	数量差+469、単価差△97(内、為替影響△40)
売上総利益	286	461	+175	
販売費及び 一般管理費	235	252	+18	販売数量増で販売直接費+15
営業利益	51	209	+157	数量差+234、単価差△82(内、為替影響△13)
営業外損益	△ 4	△ 11	△ 7	
経常利益	47	198	+150	
特別損益	△ 10	△ 11	△ 1	
税金等調整前 中間純利益	37	187	+150	
法人税等、 少数株主利益	16	109	△ 93	
当期純利益	21	77	+56	

為替 95円/\$ 91円/\$

売上高・営業利益分析

【売上高】

単位: 億円

	前上半期	当上半期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	370	403	+33	+89	△56
有機合成	343	409	+67	+69	△2
合成樹脂	478	692	+215	+247	△33
火工品	218	272	+54	+61	△6
その他	28	31	+4	+4	-
合 計	1,437	1,809	+372	+469	△97

【営業利益】

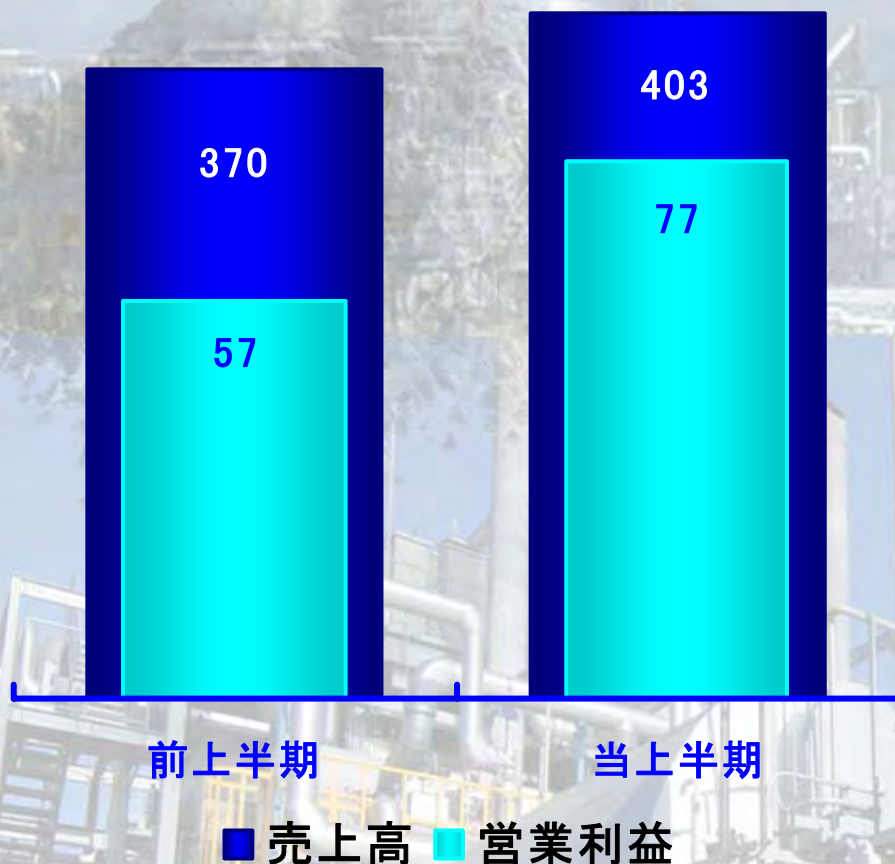
単位: 億円

	前上半期	当上半期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	57	77	+20	+30	△16	+5
有機合成	22	40	+19	+42	△21	△2
合成樹脂	△1	87	+88	+119	△45	+13
火工品	10	34	+24	+38	△0	△13
その他	2	7	+6	+6	-	-
全 社	△40	△37	+2	-	-	+2
合 計	51	209	+157	+234	△82	+5

セルロース事業セグメント



(単位:億円)



★ 売上高 **+33億円**
(為替影響 Δ 10億円)

酢酸セルロース:
液晶フィルム向けTAC好調
(半期ベースで過去最高)

アセテート・トウ:
網干工場増強で数量増、増収

★ 営業利益 **+19.6億円**

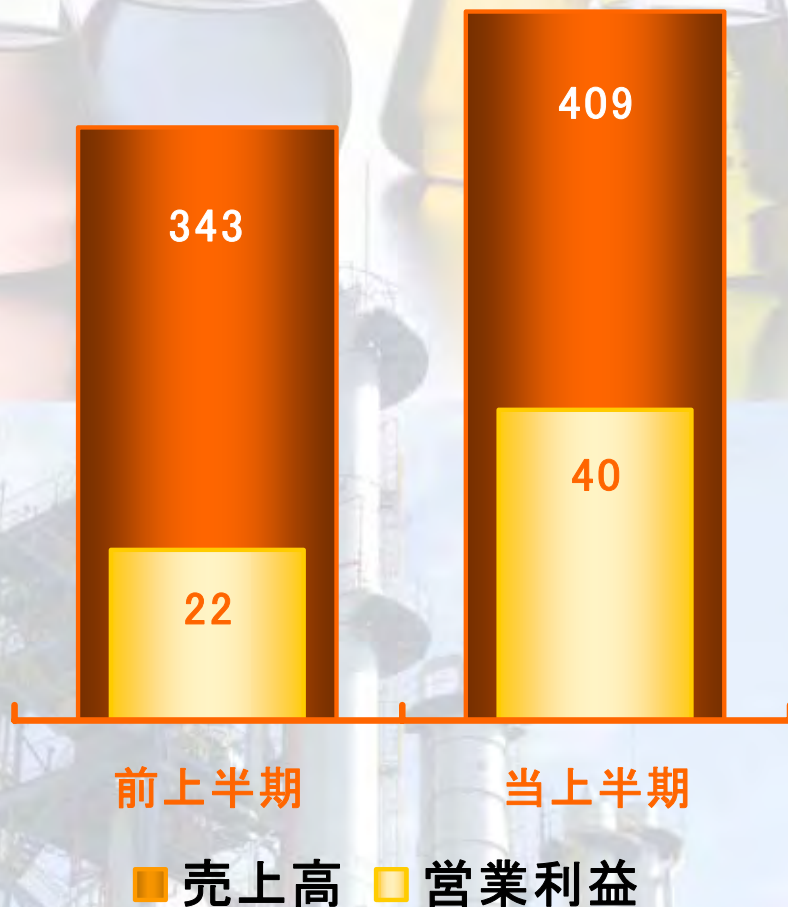
酢酸セルロース:
液晶フィルム向けTACの
数量回復で増益

アセテート・トウ:
円高によるマイナスを
網干工場の増強による数量増で
カバーし、増益

有機合成事業セグメント



(単位: 億円)



★ 売上高 **+66.6億円**
(為替影響 $\Delta 7$ 億円)

酢酸: PTA向けが回復
汎用品: 酢酸エチル増強が寄与
機能品: 電材向け需要回復
CPI: 中国・インド向けカラム好調も
一部製品の需要減少で減収

★ 営業利益 **+18.7億円**

数量増と
それによる操業度アップで増益

CPI事業：DCTCの北京分室 開設



CPI

DCTCの北京分室 開設(2011年1月予定)

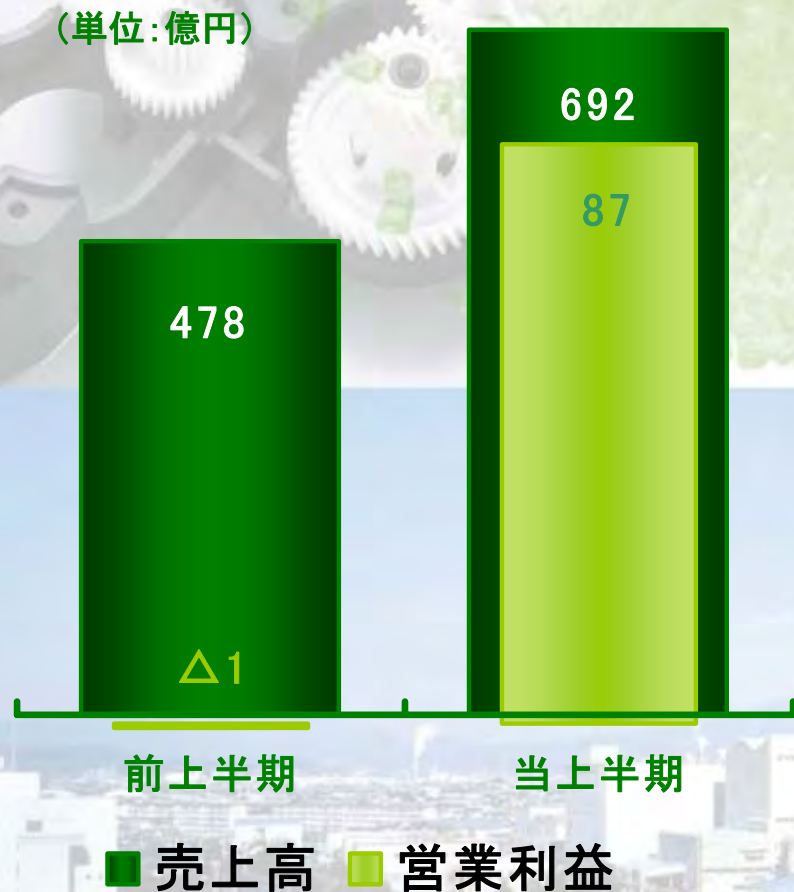


中国、インドでのカラム販売は好調

DCTC: Daicel Chiral Technologies(China)Co., Ltd



合成樹脂事業セグメント



★ 売上高 **+214.6億円**
(為替影響 Δ 16億円)

ポリプラスチック: **+195億円**
前期は、1～3月の自動車生産の減産・在庫調整の影響を受けたが
当期は、数量が回復
ダイセルポリマーGr.: 数量増で増収

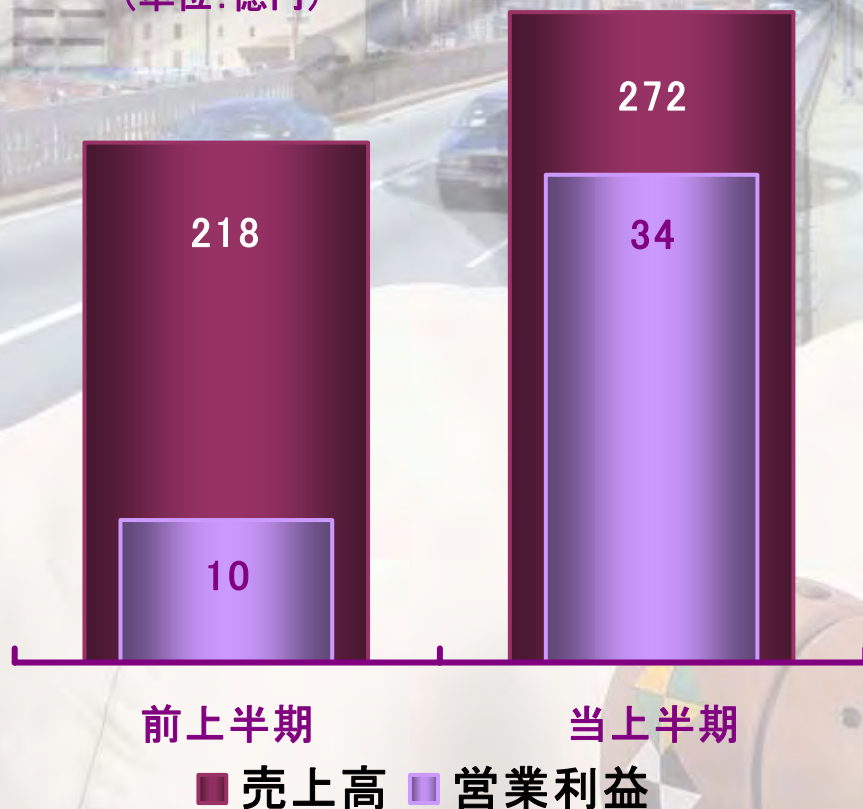
★ 営業利益 **+87.5億円**

ポリプラスチック: **+89億円**
前期の赤字から一転し、
半期ベースで過去最高
ダイセルポリマーGr.:
日本・中国・アジアの各拠点で増益

火工品事業セグメント



(単位:億円)



★ 売上高 **+54.4億円**
(為替影響 Δ 7億円)

インフレタ:
'09年上期 1581万個
当期 2185万個
消費刺激策(エコカー補助金等)や
海外拠点での販売増により回復

★ 営業利益 **+23.8億円**

インフレタ:
大幅な数量回復により増益
グローバルで
スリムな体制にしたことにより、
損益分岐点を改善

2011年3月期業績見通し

前提条件

		前上半期実績	前下半期実績	当上半期実績	当下半期計画
為替レート		95円/\$	93円/\$	91円/\$	82円/\$
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	\$220	\$330	\$335	\$340
	原油(ドバイ)	\$64	\$76	\$76	\$80
	国産ナフサ	37,000円	45,000円	46,000円	47,000円

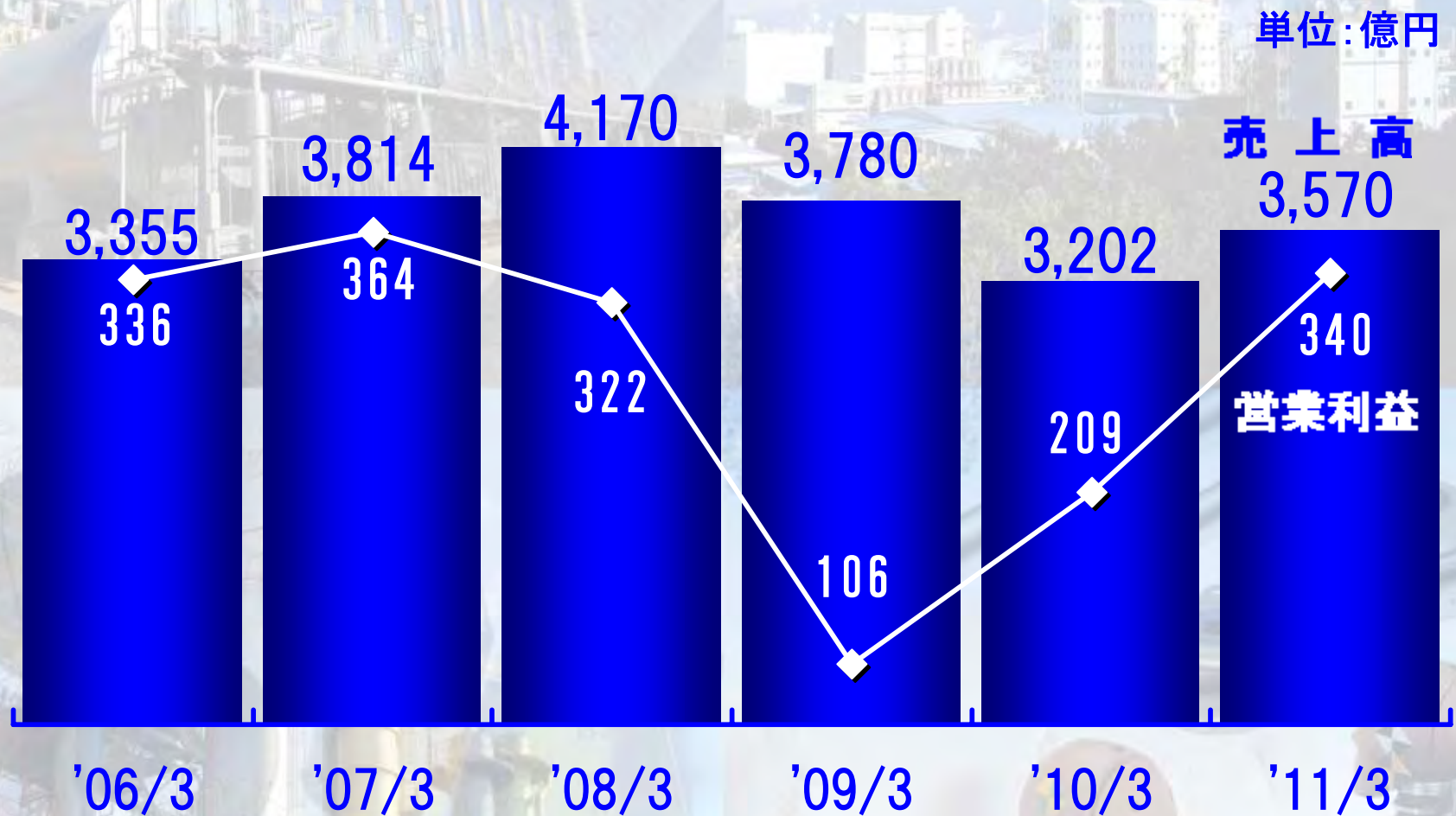
2011年3月期業績見通し

単位: 億円

	前期実績	当期見通し	増減	増減率
売上高	3,202	3,570	+368	+11.5%
営業利益	209	340	+131	+63.0%
経常利益	200	320	+120	+60.1%
当期純利益	111	175	+64	+58.1%

為替レート	93円 / \$	86円 / \$
-------	----------	----------

売上高・営業利益の推移と見通し



セグメント別 売上高・営業利益(前年対比)

【売上高】

単位: 億円

	2010年3月期 実績	2011年3月期 見通し	増減
セルロース	769	770	+1
有機合成	742	820	+78
合成樹脂	1,116	1,375	+259
火工品	513	540	+27
その他	62	65	+3
合計	3,202	3,570	368

【営業利益】

単位: 億円

	2010年3月期 実績	2011年3月期 見通し	増減
セルロース	121	125	+4
有機合成	59	77	+18
合成樹脂	53	145	+92
火工品	48	63	+15
その他	8	10	+2
全社	△80	△80	△0
合計	209	340	+131

セルロース事業セグメント



通期 見通し

売上高は横ばい、営業利益は増益



酢酸セルロース

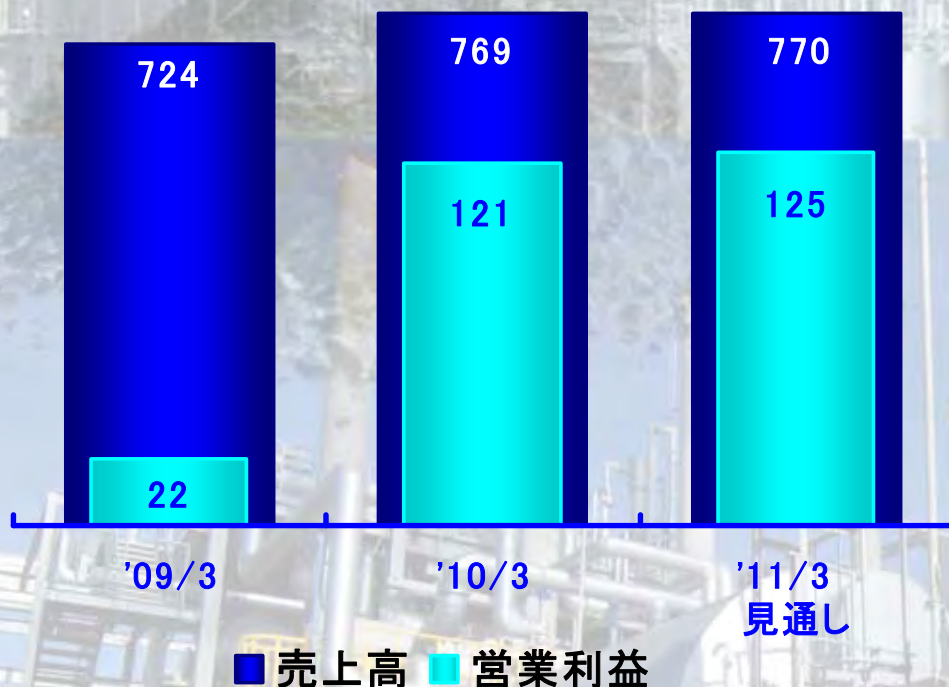
TAC数量増



アセテート・トウ

フル生産

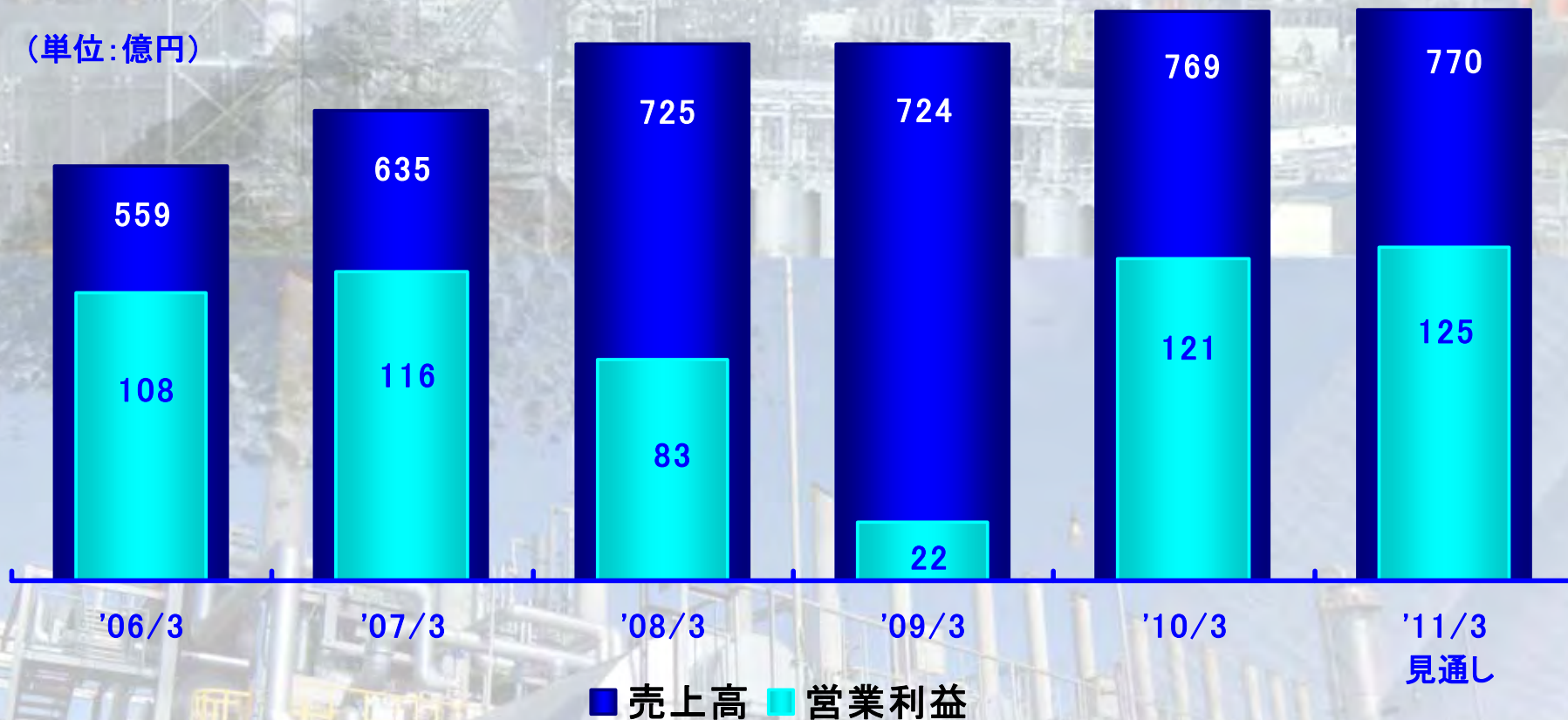
(単位:億円)



セルロース事業セグメント



(単位:億円)



有機合成事業セグメント



(単位:億円)



通期 見通し 増収増益

酢酸および汎用品: 数量増

機能品: 電材向け需要回復



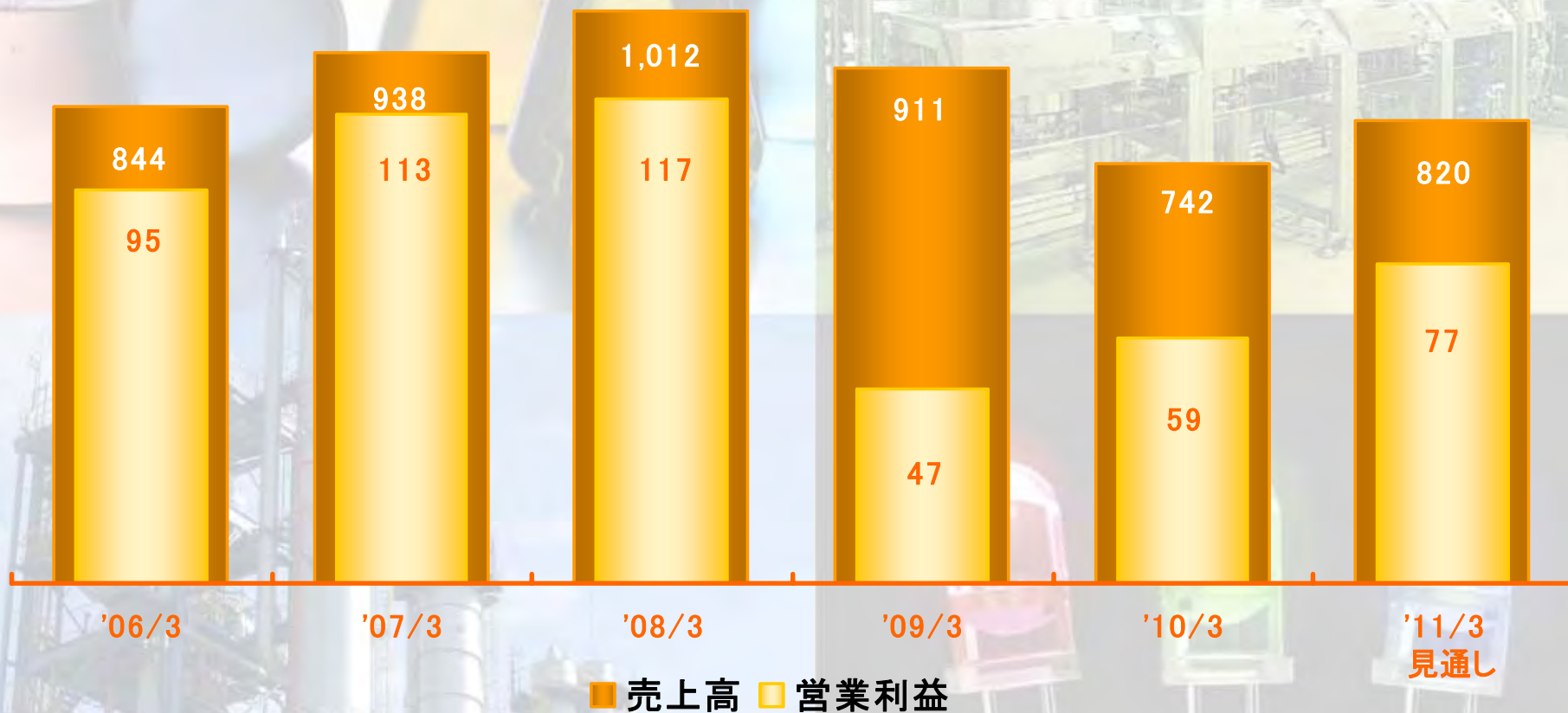
CPI: 中国・インド向けカラム販売順調



有機合成事業セグメント



(単位:億円)



合成樹脂事業セグメント



(単位:億円)



通期 見通し

増収増益

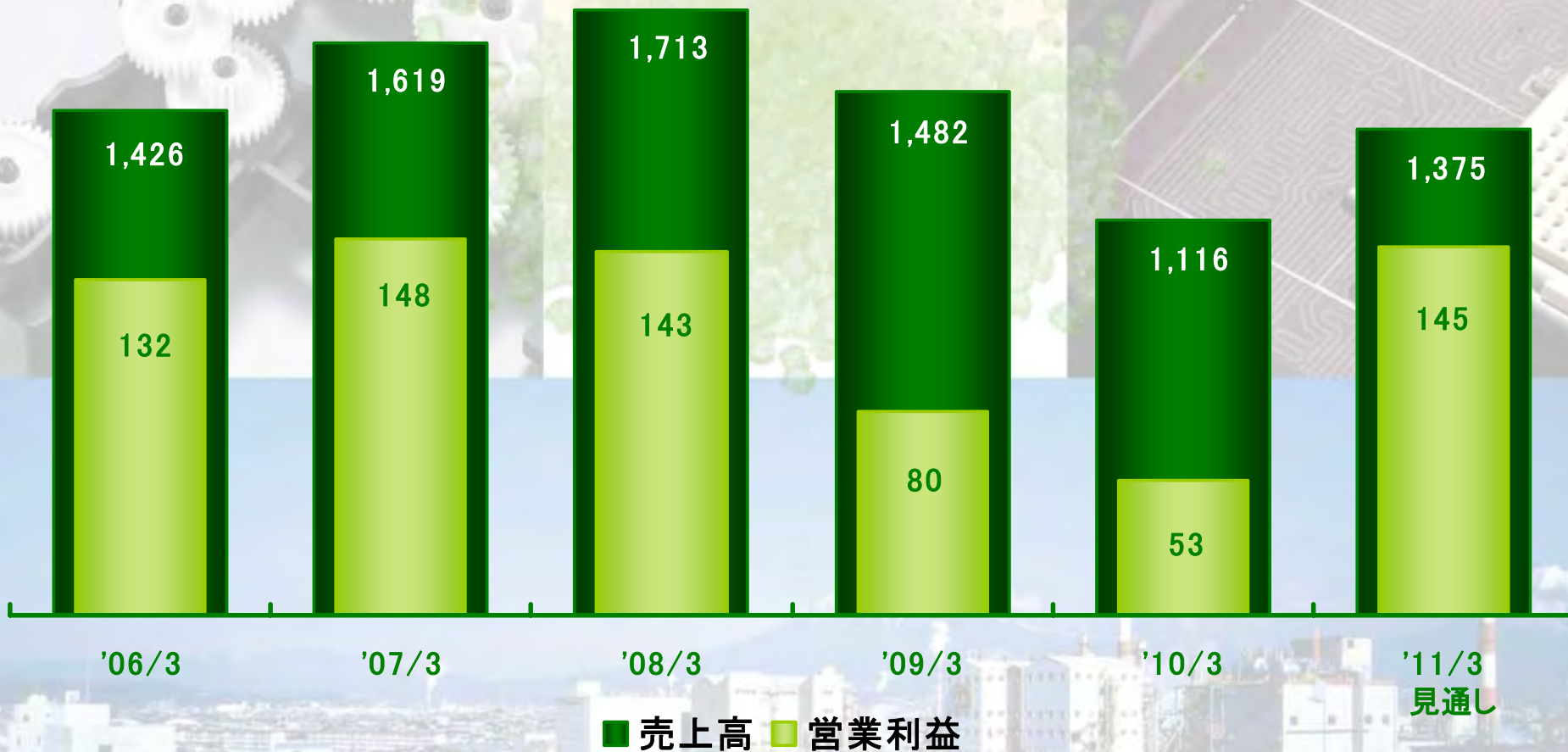
ポリプラスチックの数量回復
(リーマンショックに続く世界同時不況から回復し、過去最高の年間収益レベルへ)



合成樹脂事業セグメント



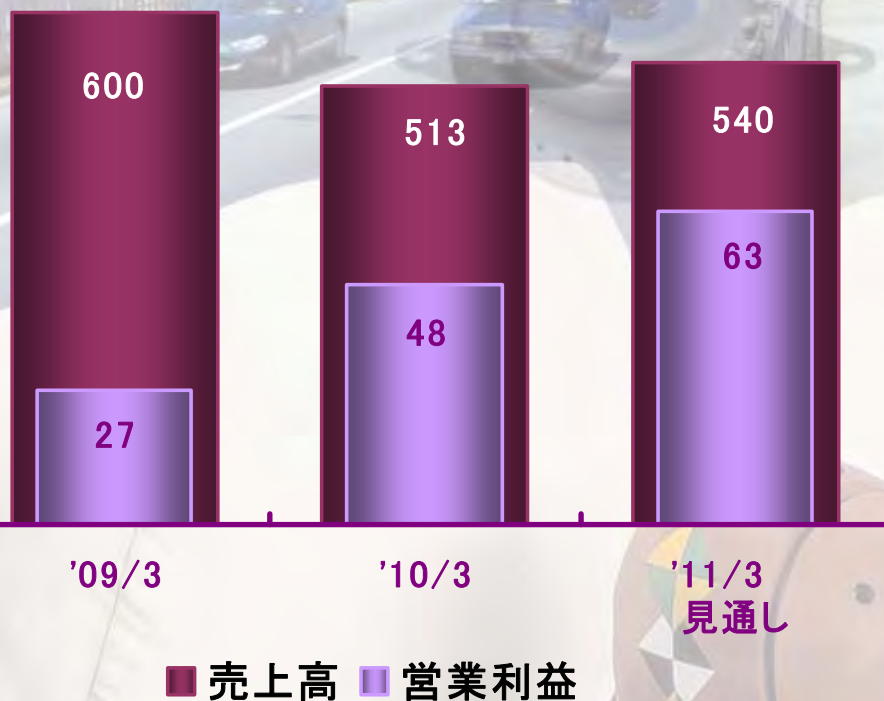
(単位:億円)



火工品事業セグメント



(単位:億円)



通期 見通し 増収増益

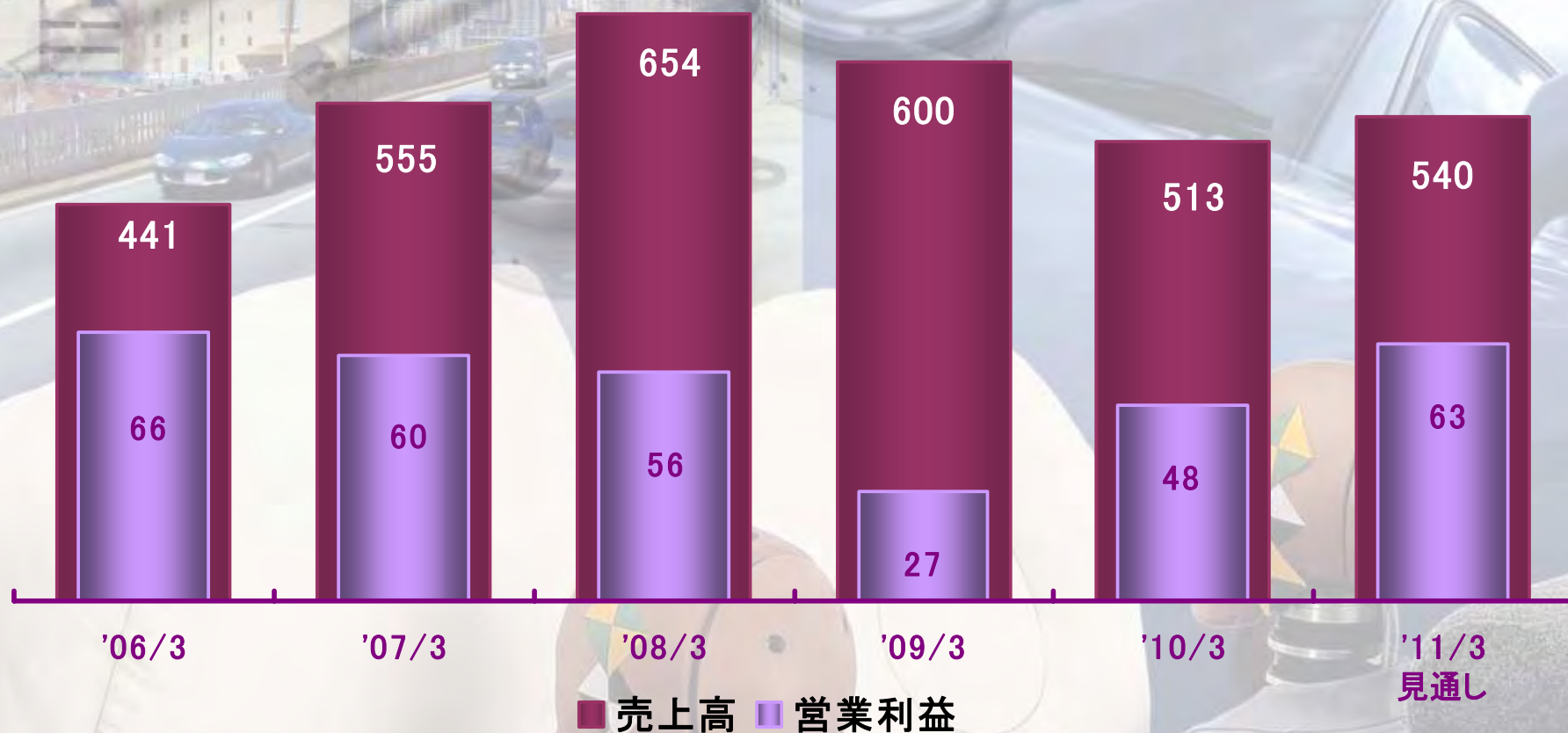
インフレータ:
年間販売数量見通し 4,400万個
(中国での販売の好調等)



火工品事業セグメント



(単位:億円)

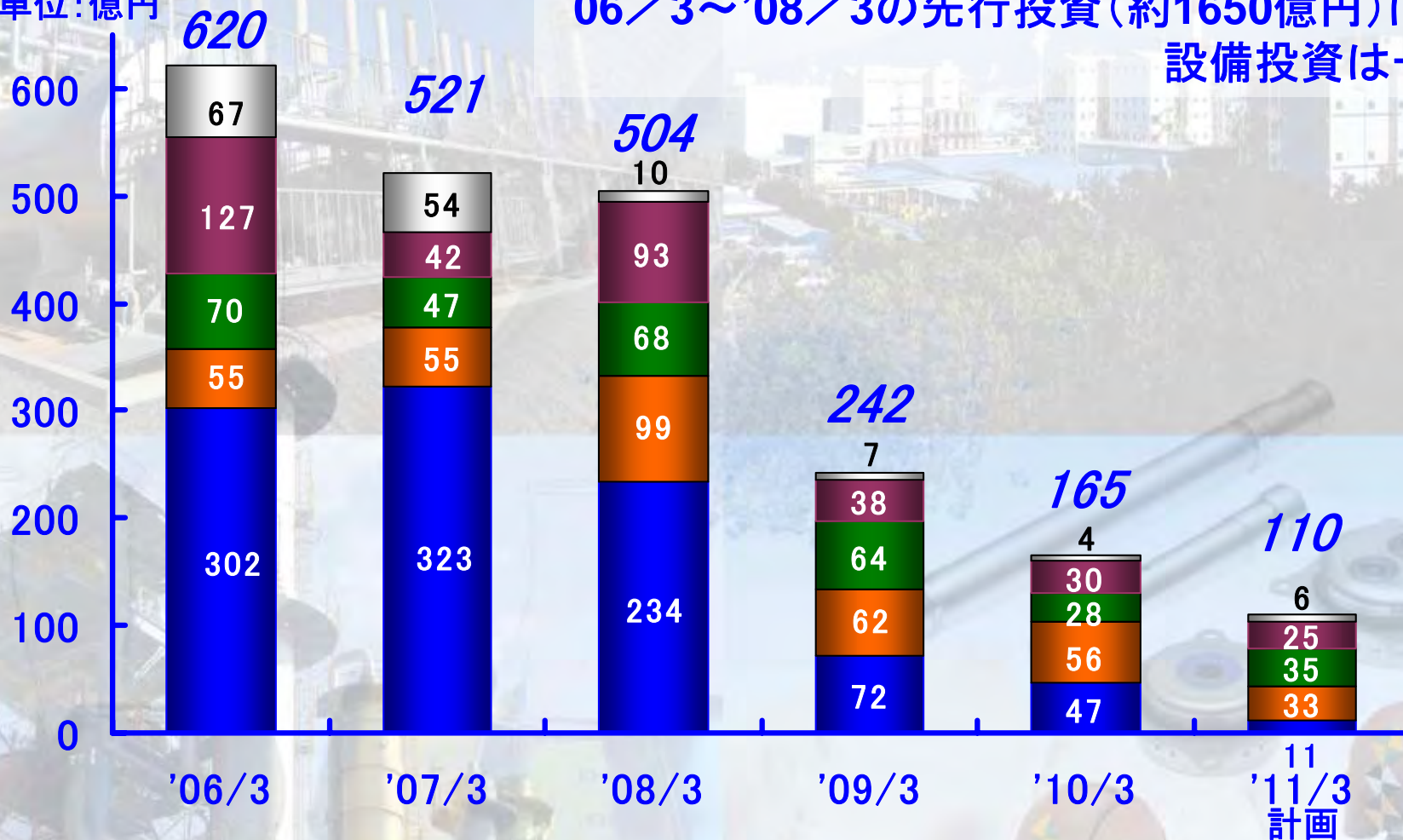


設備投資額推移

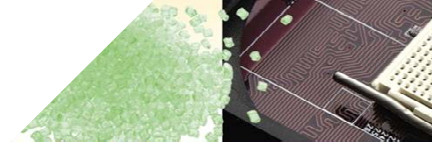


単位: 億円

'06/3~'08/3の先行投資(約1650億円)により
設備投資は一段落



下から セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品、その他全社



富士工場の液晶ポリマー(LCP)ベクトラ®の ポリマー重合能力増強

ポリマー 15,000トン/年
コンパウンド 22,000トン/年 体制へ

2012年初 商業運転開始 予定

- 中国を中心としたアジア需要の拡大
- 新規開発案件の採用数増加

→ 今後、2桁の成長が期待される

インフレーター：海外拠点を増強



DSSE



1ライン移設

DSSC

DSS



DSSA

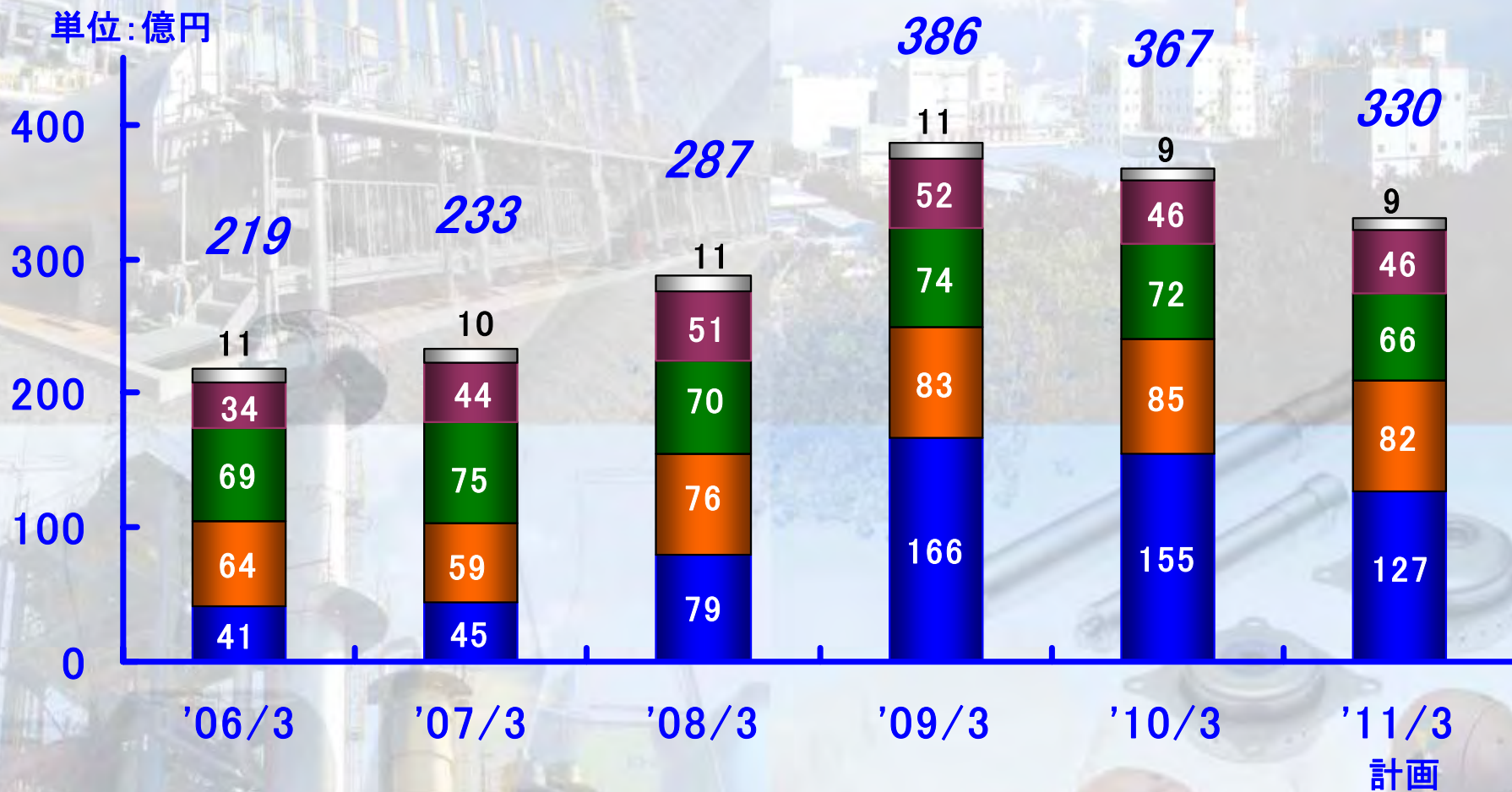
増強に着手



DSST

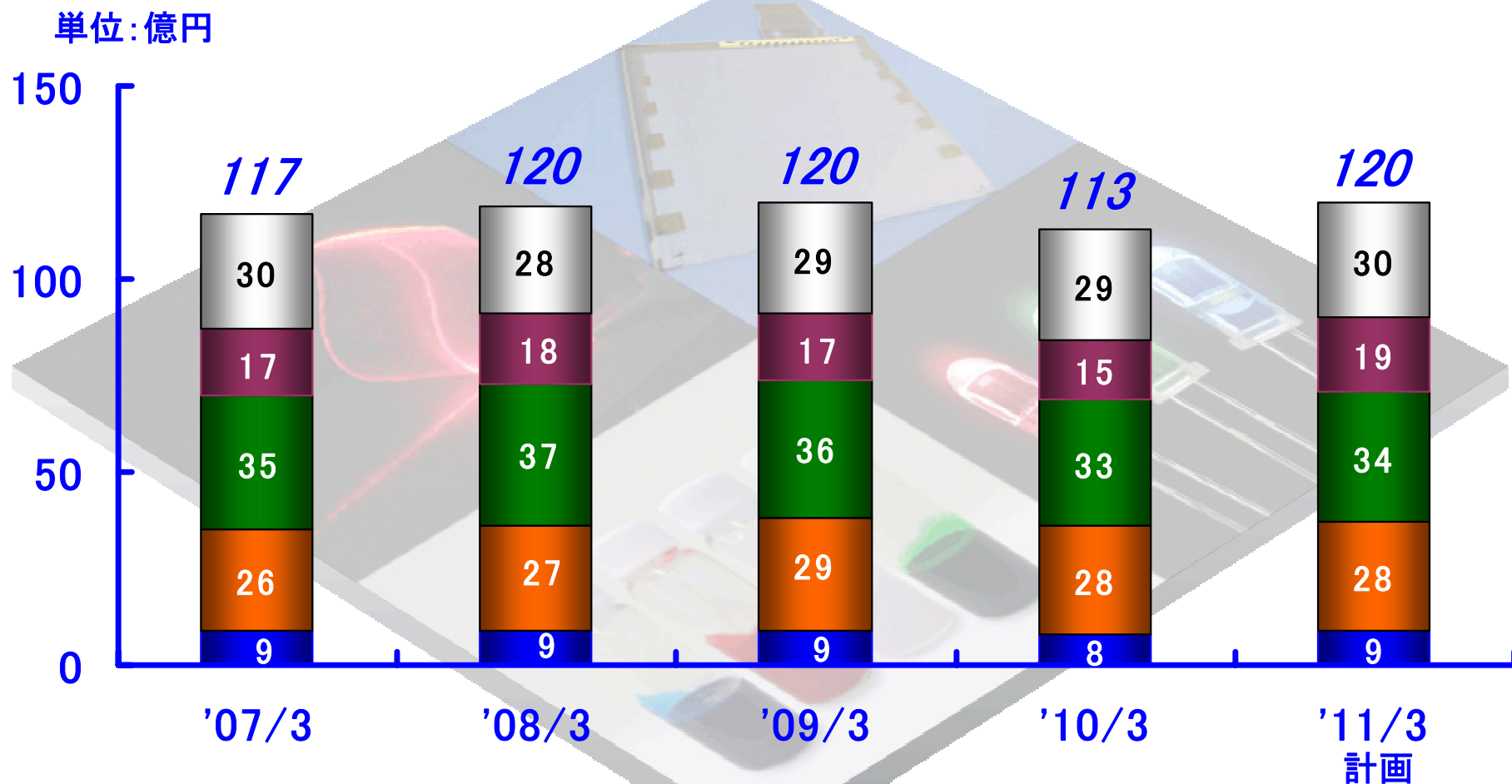


減価償却費推移



下から セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品、その他全社

研究開発費推移



下から セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品、その他全社

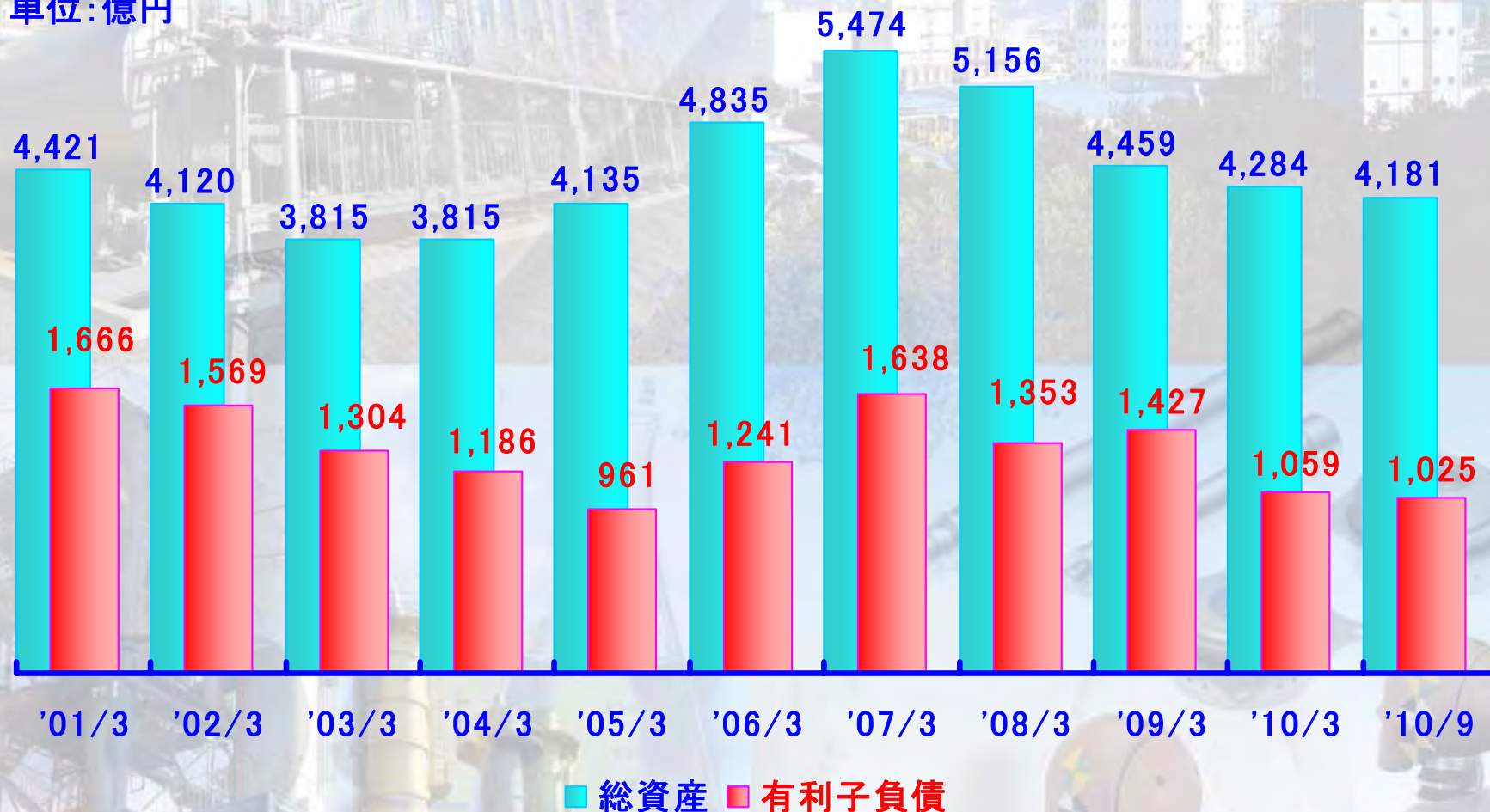
連結貸借対照表

単位：億円

	2010年3月末	2010年9月末	増減	備 考
流動資産	1,802	1,913	+111	
現金及び預金	238	310	+72	
受取手形及び売掛金	733	718	△15	
棚卸資産	626	675	+49	
その他	205	210	+4	
固定資産	2,481	2,268	△213	
有形固定資産	1,754	1,628	△126	
無形固定資産	38	32	△6	
投資その他資産	690	609	△81	
資産合計	4,284	4,181	△102	
負債	1,994	1,886	△108	
有利子負債	1,059	1,025	△34	有利子負債比率 24.5%
その他	935	861	△74	
純資産	2,290	2,296	+6	
負債純資産 合計	4,284	4,181	△102	

総資産・有利子負債推移

単位: 億円



世界に誇れる『ベストソリューション』実現企業をめざします



予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。